

2026年度(第38回)年次学術講演会 開催案内および講演募集

申込締切	2025年12月 5日 (金)
原稿締切	2026年 1月 9日 (金)

I 開催案内

1. 開催日： 2026年4月20日(月)-21日(火)
2. 場所： 神戸国際会議場(5階 会議室)
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目9-1
3. 分野： 耐火物に関する全般(下記募集要領参照)
4. 参加費： 会員：5,000円、非会員：8,000円、大学・高専等の所属者：無料
5. 講演概要集：耐火物誌3月号をあてる(希望者には3,000円で協会事前購入可)
6. 交流会： 4月20日(月)講演会終了後予定(神戸ポートピアホテル;偕楽1宴会場)

II 講演募集要領

1. 講演内容： 別表 講演発表分類表に基づく、学術・技術に直接関連するオリジナルなもの。
2. 講演時間： 発表15分、質疑応答5分(予定)
3. 講演言語： 日本語又は英語。
4. 講演形式： 口述発表(ポスターセッションなし)
プロジェクター限定、(OHP, スライド不可)／PCは各自持参。
5. 講演申込資格：講演者は本会正会員、学生会員、賛助会員会社社員及びプログラム委員会が認めた者。
6. 申込方法：申込書をコピー、記入の上、郵送、ファクシミリ、E-mailで下記宛送付。
申込後、事務局より受付番号をお知らせいたします。

1) 申込締切： **2025年12月5日 (金) 必着**

2) 申込・問合先：耐火物技術協会 年次講演会事務局 奥橋 照也

〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-13 ニューギンザビル 4F

TEL 03-3572-0705, FAX 03-3572-0175

E-mail okuhashi@tarj.org

7. 申込用紙の記載：

- 1) 申込み用紙に演題、発表者(いずれも英文併記で)、講演要旨、連絡先を明記する。
- 2) 「発表分類番号」欄には別表「講演発表分類表」から選んだ該当数字を希望順に、2項目以上記入する。
- 3) 氏名にはふりがなを、講演者氏名の前には○印を付す。
8. 講演概要原稿：作成要領に従い耐火物誌及びTAIKABUTSU OVERSEAS用原稿を、メール添付データで年次講演会事務局に提出する。

原稿締切： **2026年1月9日 (金) 必着**

第38回 年次学術講演会発表申込書

申込締切：2025年12月5日（金）

送付先：耐火物技術協会 年次学術講演会事務局 奥橋 照也
〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-13 ニューギンザビル
E-mail okuhashi@tarj.org / FAX 03-3572-0175

講演題名 和文 _____

英文 _____

発表者氏名・所属 和文 (講演者に○印をつけて下さい)

発表者氏名・所属 英文

講演要旨 (200字以内)

耐火物研究助成金対象研究 対象 (年度) / 非対象

*選択して○を付け、必要項目を記入する。

発表分類番号 【 】 使用機器
⇒ プロジェクター限定 (PCは各自持参)

連絡先：所属

住所

氏名

TEL

FAX

E-mail

耐火物誌用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は和文又は英文。
- 2) 用紙：A4判白紙に上下30mm、左右20mmの余白を設けこの枠内に記し、1ページに収める。
- 3) 体裁：次ページの年次学術講演会概要原稿作成要領に従うこと。特に字体はそれぞれ指定されたものにすること。（英数字は半角、カタカナは全角を使用する。）
- 4) 表現：① 原稿は目的、研究手法、成果、結論等が理解しやすい簡潔な表現とすること。題名は具体的かつ内容を的確に表すこと。
- ② 商品名、一般的でない略号等は原則として用いない。
- ③ **図表はすべて英文とする。**（図表中の説明も英文とする。ただし本文中では**図1、表2**…と和文表記し、**ゴシック太字**とする。）
- ④ **SI単位を使用。**（例：MPa, kg·h⁻¹, m·s⁻¹, g·cm⁻³, W·m⁻¹·K⁻¹, mass%）
- ⑤ 顕微鏡写真のスケールは必ず写真内にいれる。（写真は、図として扱う。）
- 5) 提出：作成した原稿は、メール添付データで年次講演会事務局に提出する。
- 6) 査読：応募原稿はプログラム委員会において、題目・形式・印刷効果等を中心とした査読を行い修正を依頼することがある。
- 7) 発表講演は、後日耐火物誌への論文又は技術報告としての投稿を依頼する。
- 8) 版権：耐火物技術協会に属する。

TAIKABUTSU OVERSEAS 用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は英文。（協会での翻訳希望者は耐火物誌用原稿のコピー左肩に翻訳依頼と朱書し、余白に特殊用語のみ英語を朱書して提出する。）
- 2) 用紙・体裁：講演題目、著者及び本文はA4判用紙に大きめの活字でベタ打ち、図表は耐火物誌用と同じものを別紙にて、電子データ（メール添付）で提出する。（レイアウトは協会で行う。）
- 3) 校正：内容については触れないが、英文としての校正がある。
- 4) 掲載辞退：都合により掲載を辞退するときは、耐火物誌用原稿のコピー右肩に掲載辞退と朱書して提出する。（辞退しても発表記録として題目と発表者名は掲載される。）

別表：講演発表分類表（2項目以上選択のこと）

分類	分 野・内 容	分類	分 野・内 容
1	基礎・評価・分析技術	7	鋳造(非鉄含む)
2	原料	8	ガラス・セメントその他工業炉
3	耐火物製造技術	9	焼却炉・廃棄物溶融炉
4	設計・施工・補修及び機器	10	定形耐火物
5	製銑	11	不定形耐火物
6	精鍊(非鉄含む)	12	その他

«年次学術講演会概要原稿作成要領»

耐火物研究助成金対象研究 (⇒ 耐火物研究助成金対象研究には、左側最上段に必ず記載する)

タイトル (ゴシック太字 14 ポイント)

○○耐火 (株) 春野太郎, 夏山花子, 冬木 岳 (明朝 11 ポイント)

◎◎大学 秋川一郎

Application of Castable for Ladle (Times New Roman 11 points)

Taro HARUNO, Hanako NATSUYAMA, Takasi FUYUKI and Ichiro AKIKAWA (苗字は大文字)

1 緒言 (ゴ太 11 ポイント)

(明朝 11 ポイント) 題名は、重要キーワードを用いて内容を的確に示し、英文は極力日本語に対応させる。報告書の作成者を第一著者とする。常用されていない略号は使用しない。項目番号のあとには、ピリオドは不要。和文の () は全角。

2 実験方法 (試験方法など)

試験方法と結果、結果と考察はまとめてもよい。本文中の **図 1, 表 1** などはゴシック太字に。図表のキャプションは、**Arial** 太字、表内文字は **Arial** (8-10point) にする。最初の単語のみ大文字にする。単位は / で表し、SI 単位に従う。本文及び図表の単語、数値、/, 単位間は、それぞれ半角スペースを入れる。英文の () は半角。

3 結果

書式は、A4 縦向き、余白は上下 30 mm 左右 20 mm, 42 字 × 44 行。本文、見出しが 11 ポイント。本文は明朝、見出しが、ゴシック太字に。本文中の英数字は半角、カタカナは全角とする。句点は「。」、読点は「,」(全角) とする。

Table 1 Chemical compositions of samples

Chemical Composition / mass%	A	B	C
SiO ₂			
Al ₂ O ₃			
MgO			

Table 2 Properties of samples

Physical properties	A	B	C
Bulk density / g · cm ⁻³			
Apparent porosity / %			
MOR* / MPa			

*: Modulus of rupture

3・1 特性値

3・2 ○○試験

4 考察

結果と考察にまとめてもよい。

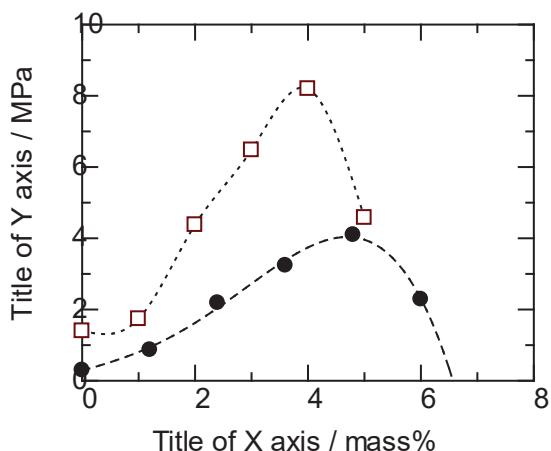


Fig. 1 Properties of samples.

5 まとめ (結論、結言など)

文献

- 春野太郎, 夏山花子: 耐火物, **49** [11] 586-589 (1997).
- 秋川太郎: 第 55 回原料専門委員会報告集, 耐火物技術協会 (1997) pp. 23-29.
- D. D. Button and W. G. J. Lawrence: J. Am. Ceram. Soc., **47** [10] 503-504 (1964).